

今週（4月20日から4月24日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、週間の日銀当座預金残高が概ね410兆円前後で推移した。無担保コールO/N加重平均レートは新しい積み期間に入ってからほぼ横ばいでの推移が続いており、今週は▲0.04%台での推移となった。業態別では、週を通して都銀業態で▲0.087%、地銀業態で▲0.060～▲0.020%、信託業態で▲0.060～▲0.040%、証券業態で▲0.060～▲0.045%が中心であった。ターム物は▲0.030～▲0.010%が出合いの中心であった。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは24日に2W物・20,000億円がオファーされ、13,371億円（期落ち額14,570億円）と札割れとなった。その他、新型コロナ企業金融支援オペが24日に3M物でオファーされ、178億円の貸付が行われた。

●レポ市場

今週の債券レポGC TNは、業者の玉確保ニーズの強まりから、レートが低下する展開となったが、週後半には投資家に一定の資金調達需要が見られ、ややレートが上昇した。週初20日は▲0.150～▲0.110%の出合い、21日は▲0.155～▲0.105%の出合い、22日はややレートが低下し▲0.165～▲0.110%の出合いだった。23日は3日積みとなり投資家が資金調達姿勢を強めたこともあってか、▲0.145～▲0.120%出合いとなり、24日は短国の発行要因から▲0.125～▲0.105%とレートを切り上げての出合いとなった。

個別銘柄では2Y402～411、5Y136～143、10Y335～358、20Y167～172、30Y59～66、40Y9～12等にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、閑散地合いの中、堅調に推移した。週を通して散発的な買いが入っており、3M物が▲0.175～▲0.160%、1Y物が▲0.190～▲0.175%で出合う展開となった。

21日に実施された短国買入オペは、前回から2,500億円増額の5,000億円でオファーされた。平均落札利回較差▲0.004%、按分落札利回較差▲0.013%と、しっかりした結果となった。

24日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.140～▲0.137%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1283%、按分落札利回▲0.1142%となった。結果としては弱めであるものの、今後も短国増発が続くと見込まれる中では、意外にしっかりとした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.1283%出合いで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、電気機器、鉄鋼、電気・ガス、食料品等複数業態でまとまった額の調達が見られたものの、月末を中心に償還が集中しており、週間発行総額6,000億円程度に対し、償還総額は7,000億円程度と償還超のマーケットとなった。緊急事態宣言発令に備え、月初に前倒して資金調達していた発行体も多く、直近は発行案件も膨らまず、市場残高は先週に引き続き23兆円台後半で伸び悩んでいる。案件の減少に伴い、投資家が運用目線を引き下げる動きも見られたことで、発行レートは全般的にみると前週比で若干低い水準で推移した。その一方で目線が合わず、発行見送りや減額する銘柄もみられ、水準を見定め難い状況が続いている。

24日にはCP等買入オペが、事前予定額より2,000億円多い、6,000億円でオファーされた。結果は、平均落札レート0.081%、按分落札レート0.052%と、前回（平均0.164%、按分0.106%）比で平均・按分ともに低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/20 (月)	19,669.12	0.010	107.86	△ 0.042	△ 0.121	4,112,400
4/21 (火)	19,280.78	0.015	107.80	△ 0.043	△ 0.149	4,114,100
4/22 (水)	19,137.95	△ 0.010	107.84	△ 0.043	△ 0.157	4,089,300
4/23 (木)	19,429.44	△ 0.010	107.80	△ 0.046	△ 0.138	4,097,200
4/24 (金)	19,262.00	△ 0.025	107.70	△ 0.047	△ 0.115	4,110,200

来週（4月27日から5月1日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/27 (月)	日銀政策委・金融政策決定会合(9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望				
4/28 (火)	3月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 3月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30)				米FOMC(1日目) 2月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 4月の米CB消費者信頼感指数
4/29 (水)	昭和の日				米FOMC(2日目) 1-3月期の米GDP速報値
4/30 (木)	3月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 3月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 4月の消費動向調査(内閣府 14:00) 3月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)				ECB定例理事会(金融政策発表) 3月の米個人所得・消費支出 4月のシカゴPM景況感指数 4月のユーロ圏消費者物価指数速報値
5/1 (金)	4月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 72,400億円 5/7発行	流動性供給 4,000億円 5/7発行	交付税借入 11,000億円 5/15借入	EURO祝日(Labour Day) 3月の米建設支出 4月のISM 製造業景況指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/27 (月)	▲ 1,800	▲ 3,600	▲ 5,400	国債買入 全店共通 CP買入 ETF買入 新型コロナ 国債補完	▲ 14,600 ▲ 400 500	2,000 13,400 1,100 200	2,200	▲ 3,200	TB3M発行▲57400償還43400
4/28 (火)	▲ 2,000	5,000	3,000				0	3,000	
4/29 (水)	昭和の日								
4/30 (木)	▲ 2,400	3,000	600	CP買入		4,000	4,000	4,600	
5/1 (金)	▲ 3,000	▲ 28,000	▲ 31,000				0	▲ 31,000	税保険料揚げの前倒し 2Y発行▲20000
週間合計	▲ 9,200	▲ 23,600	▲ 32,800	—	▲ 14,500	20,700	6,200	▲ 26,600	

4/27は日銀予想、4/28以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、連休前ということもあって様子見姿勢が強まることが予想され、無担保コールO/N加重平均レートはほぼ横ばいでの推移が見込まれる。月末の30日はビッドが減少することで、低下することが予想される。レボ市場は、GC T/Nは短国の発行が増額されることもあり、やや上昇していくと予想される。短国市場は、1日に3M物の入札が実施予定となっている。短国が増発傾向にある中、レート水準を含め、市場動向が注目される。短国買入オペは28日にオファーされることが見込まれる。CP市場は、月末週となるが、既に前倒しで資金を手当てしている発行体も多く、通常の月末に比べて落ち着いたマーケットとなることが予想される。金融政策決定会合では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で急速に悪化している企業の資金繰りを支援するためにCPの購入枠を増やす方向、との報道も見られており、動向に注目が集まる。

主要なイベントは27日に日銀政策決定会合、海外では28～29日にFOMC、29日に1～3月期の米GDP速報値、30日にECB定例理事会、4月のユーロ圏CPI等が予定されている。金融政策決定会合は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、1日に短縮して行われる予定となっている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入